

第1回世界閉鎖性海域環境保全会議

エメックス 90/1990年8月3～6日/日本・神戸

瀬戸内海だけでなく、世界の閉鎖性海域の研究者や行政担当者、関係民間団体との情報交流を目的に、環境庁、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、兵庫県、神戸市などの共催で開催されました。

世界初の「エメックス会議」には、国連環境計画（UNEP）など3国際機関をはじめ、42ヶ国・地域から延べ1,238人が参加。ともすれば専門分野のみの検討に陥りがちな研究者、行政官、市民が一

堂に会し、人文科学、社会科学から自然科学まで広い範囲で9セッション186人の発表があり、情報・技術の学際的交流と討議が行なわれ、記念すべき第1回国際会議にふさわしい充実したものとなりました。

この会議の成果は「瀬戸内海宣言」として集約され、その実現に向け、世界各国の関係者が互いに連携を図り、努力していくことが誓われました。



エメックス90「瀬戸内海宣言」より

閉鎖性海域の優れた環境と大きな恵みは、将来の世代にも引き継がれていかなければならない。

このため、すべての関係者が、閉鎖性海域の環境を保全しつつ、その利用を持続的に進めていく道を探求していかなければならない。

陸域と海域の環境は、互いに深く関わっており、土地利用、産業活動、埋め立て及びその他の活動は、沿岸域の水質、生態系、自然景観及び海洋環境等に影響を及ぼしうる。

沿岸域の環境の保全と持続的な利用を進めるためには、沿岸管理の総合的なアプローチが必要であるが、これは国や地方自治体の間の緊密な協力があって達成されるものであり、それには強力な政治的指導力と関係者間の合意が求められる。